

かわさきく
川崎区




かわさきえきしゅうへん
きれいになっていくね、川崎駅周辺の「アーバンデザイン」 14ページを
見よう

まちづくり事例だよ！

まちにはいろいろな建物があります。その建物一つ一つには持ち主がいます。その持ち主がお互いのことを考えないで建物を自分勝手につくっていくと、まちなみはバラバラになってしまいます。

川崎駅前にあるたちばな通りでは、まちの顔となるまちなみをつくるために市民が主体となって「景観づくりのルール」を決めています。電線を地中に埋めたり、街灯をきれいなものにしたたり、商店街の人たちが中心となって、景観づくりのルールを守りながら川崎の都心にふさわしい魅力のあるまちづくりを目指しています。



景観のルールがあるたちばなモール



川崎駅西口（幸区側）のまちも変わるんだね

まちづくりには
ルールが大切なんだね。

川崎駅の周辺では、まちなみを考えながら川崎の顔づくりが着々と進んでいるのです。

みんなで作った広場もあるよ！小田3丁目いこいの広場

21ページを
見てみよう



地域の人みんなでまちづくりを考えて、
いこいの空間をつくりました！

広場のイラスト

家がたくさん建っている中に
できた大切な広場なんだね。

みんなで作った広場
だから愛着がわいてくるね。

横浜市に近いところにある川崎区の小田2丁目・3丁目は、たくさんの家が密集している地区です。この地区で住みよい環境をつくるため、市役所の呼びかけにより、市民が主体となったまちづくりが進められています。

その中で、小田3丁目の老人いこいの家跡地を利用して、地域の人と市役所の人と一緒に広場をつくりました。市民が計画をつくり、市役所がその計画にそって工事を進めました。市民のアイデアや意見が入った、みんなが使いやすい広場ができました。

段差をなくしたスロープや、丸テーブルを置いた「休憩ゾーン」、シーソーや木馬が置かれた「遊戯ゾーン」があります。住宅地にある貴重なオープンスペース（ゆとりある空間）ですね。

地域全体で活動していこう！川崎大師周辺のまちづくり

2ページを
見てみよう

川崎大師駅前には古くから商店街があって、地域の人や商店街の人たちが集まって「まちづくりクラブ」をつくっています。

まちづくりクラブとは、川崎区の各地域で、自分たちのまちの将来の姿を話し合い、いろいろな活動をしていく集まりです。「自分たちで考えてばかりいるのではなく、多くの人に見てもらって、知恵を出してもらおうための行動を起こさなければ」と考えています。



観光ボランティアガイドによる案内

ウォークラリーのようす

地域のお祭りでは、みんなにまちのことをよく知ってもらおうと、地域の人、商店街の人たちが一緒になって、ウォークラリーを企画し、子どもたちも参加してまち歩きを楽しみました。

また、まちに観光客がたくさん来もらえるように、地域の人、「川崎大師観光ボランティアガイド」になって、自分たちのまちの案内役をえています。

まちづくり事例だよ！